

Editメニュー	機能
Undo	処理後の画像に対して1つ手前の状況に戻します
Copy	画像及び画像上の選択されたRegion内の領域をコピーします
Paste	Copy機能でコピーされた画像を選択された画像上に貼り付けます
Duplicate	一枚の画像やStackファイルに対して様々な条件でコピーを行います
Image Info	画像上に記録されている撮影条件や画像サイズなどの情報の表示を行います
Image Status Bar	イメージウィンドウ下部に表示される情報表示の設定を行います
Rename Image	画像に指定した名称に変更します
Annotate Image	画像の注釈の記入、変更を行います
Image Properties	画像に任意の情報の編集を行います
Preference	MetaMorph上で扱う画像に対する各種設定を行います
Image Format Preference	MetaMorph上で扱う画像フォーマットに対する各種設定を行います
Configure Default Path	MetaMorph上で保存および読みだす画像や各種設定データのデフォルトの入出力先を設定します

Fileメニュー	機能
New	任意の解像度、輝度階調のイメージウィンドウを新規で作成します
Open	保存された画像を開きます
Open Special	保存された連番の画像をStackファイルとして構築して開きます
Open in 4D Viewer	保存された多次元データファイル(MetaMorphや他社製共焦点顕微鏡画像データ)を立体的に表示します
Close	MetaMorphウィンドウ上で選択されている画像を閉じます
Close All	MetaMorphウィンドウ上にあるすべての画像を閉じます
Multi Dimensional Tools	連番ファイルを指定された次元情報に基づき、多次元データファイルセットとして再構築します
Image Browser	MetaMorph上で指定されたディレクトリ中のファイルを別ウィンドウでサムネイル表示を行います
Save	画像を保存します
Save as	画像を指定されたフォーマット、名称で保存します
Save Partial As	画像上に作成されたRegionエリア内のみを保存します
Revert to Saved	ウィンドウ上に展開中の画像を、保存された状態に戻します
Setup Sequential File Names	Save Using Sequential File Name機能で保存する際に使用するファイル名、保存先の設定を行います
Save Using Sequential File Name	ウィンドウ上で選択された画像をSetup Sequential File Namesで設定したファイル名、保存先に保存します
Find Images	HDD内の画像を画像名や撮影条件などの項目から検索します
Print	選択された画像を印刷します
Print Stack	選択されたStack画像を印刷します
Run Program	MetaMorph上でDOSコマンドを実行します
Application Link	MetaMorphとExcelなどの他アプリケーション間でデータの転送を行います
Convert Stack to File	Stackファイルを連番のTiffファイルとして保存します
Exit	MetaMorphを終了します

Regionメニュー	機能
Region Tools	Regionを作成するためのツールを表示します
Load Regions	保存されたRegionを画像上に読みだします
Save Regions	画像上に作成されたRegionを保存します
Create Region	任意の形状、大きさ、位置にRegionを作成します
Delete Active Region	選択されているRegionのみを消去します
Clear All Region	画像上に作成されているRegionすべてを消去します
Shrink Region to Fit	Threshold(2値化)の領域を取り囲むように作成されたRegionを、Thresholdの領域に符合させます
Transfer Region	画像間でRegionの転送を行います
Move All Regions	画像上すべてのRegionを指定方向に画像内で移動します
Convert Region To lines	矩形、円形などの閉鎖的Regionの1部分をカットし、線上のRegionに変更します
Resequenece Region Labels	画像上のRegion番号の振り直しを行います
Create Segment Regions	画像上に作成されたLine Regionに沿うように、任意の大きさに分けられた矩形Regionを作成します
Create Regions Around Objects	画像上に作成されているすべてのThresholdエリアの周りにRegionを作成します

Stackメニュー	機能
Select Plane	Stack画像から任意のプレーンの表示を行います
Play Preference	Stack画像の再生速度、再生方向の設定を行います
Add Plane	2つのファイル(単一画像、Stack画像)を結合し、Stack画像を構築します
Remove Plane	Stack画像から任意のプレーンを除去、もしくは抜き出します
Set Plane Z Distance	深さ情報を持たないZ Stack画像に、指定したZ間距離を設定します
Set Plane Time Increment	時間情報を持たないタイムラプスStack画像に、指定したインターバルタイムを設定します
Keep Planes	Stack画像から指定する範囲、間隔で複数のプレーンの除去およびコピーを行います
Stitch Stack	電動ステージによるタイリングスキャンを行って撮影したStack画像の自動つなぎ合わせ処理を行います

Movie	Stack画像をMetaMorph上でムービー表示します
Make Movie	Stack画像をAVI、QuickTime形式の動画ファイルを作成します
Montage	Stack画像を指定した並び方でモンタージュ画像として作成します
Montage Stacks	複数のStack画像を上下左右にそれぞれ結合したモンタージュ形式で新たにStackファイルとして結合します
Align Stack	Stack画像中の各プレーンを個別にXY方向のズレ補正を行います
Equalize Light	タイムラプスStack画像において、背景部分の時間方向に対する大きな輝度のばらつきを均一化します
Kymograph	Stackファイル上に作成されたRegionエリアの輝度断面図を作成します
3D Reconstruction	Z Stackファイルに対して、縦もしくは横方法に回転する3次元立体構築したアニメーション画像を作成します
View Orthognal Planes	Z Stackファイルに対して、任意のポイントのXY、XZ、YZ画像の表示、作成を行います
Topographic Surface	Z Stackファイルに対して、Z方向の高低差を輝度情報に置き換えた画像を作成します
Stereographic Views	Z Stackファイルに対して、ステレオ画像を作成します

Displayメニュー	機能
Adjust Digital Contrast	画像表示の輝度、コントラスト、ガンマ補正を行います
Contrast Shortcuts	コントラスト調整にかかわるショートカットコマンドを表示します
Scale Image	表示されている画像の表示スケールレンジ調整を行います
Graphics	画像上にキャリブレーションバー、時間情報、テキスト、矢印などの情報を記述します
Intensity Profile	画像を構成するピクセルの輝度値の高低より、疑似的な3D鳥瞰図を作成します
Combine into B&W + Color	モノクロ画像とカラー画像の合成を行います
Overlay Images	蛍光6波長、透過画像1波長の最大7波長の画像の重ね合わせを行います
Color Combine	RGBの最大3色の画像の重ね合わせを行います
Color Separate	24bitカラー画像をRGBの色成分や、明度、彩度、輝度などの要素で分離します
Color Align	24bitカラー画像を構成するRGBの3原色要素を個別にXY方向にズレ補正します
Color Mosaic	単版式カラーCCDカメラ取得画像からのカラー画像作成を行います
Split View	Dual ViewやW-View光学系、Twin-CCDで取得した2波長同時取得の画像の分離、設定などを行います
Deinterlace	対象画像より、奇数列もしくは偶数列の走査線を抜き出し新たな画像として作成します
Rotate	画像の回転を行います
Show/Hide Image at Full Screen	画像のフルサイズ表示の切り替えを行います
Set Image Zoom	画像を指定した倍率にて表示します
Stretch and Mirror	画像の鏡像処理を行います

Processメニュー	機能
Binary Operations	Thresholdからバイナリ画像を作成したり、バイナリ画像に各種フィルタ処理を行います
Arithmetic	レンショ画像の様な画像間割り算や、画像に一定値の演算処理などを行います
Stack Arithmetic	スタック画像に対して各プレーンの足し込み処理などの演算処理を行います
Basic Filters	シャープフィルタ、アンシャープフィルタなどの基本的なフィルタ処理を行います
Detect Edges	各種アルゴリズムを用いて、画像中のオブジェクトのエッジを検出します
Morphology Filters	画像中の輝度や形態に対して様々なフィルタ処理を行うツールです。
Background and Shading Correction	背景の自家蛍光や励起光のムラから起因する輝度ムラを補正します
2D Deconvolution	No Neighbors、Nearest Neighborsの2つのアルゴリズムが用意された2Dデコンボリューションを行います
Edit Kernel	ユーザー定義のカーネル(フィルタアルゴリズム)を作成し、それによるフィルタ処理を行います
FFT	対象画像に高速フーリエ変換を行います
Ratio Images	2つの画像間の輝度の比を計測し、得られたレンショ値を疑似カラーで表示します

Logメニュー	機能
Log Data	各種データをログ出力します
Annotate Log File	画像注釈をログ出力します
Label Logged Data	任意のテキストでラベル登録し出力されるログデータに添付します
View Log File	出力された.log形式のLogファイルを開覧します
Set Logging Row and Column	Excelにログ出力する際の出力位置をRow、Columnで設定します
Configure Logging Timestamp	ログ出力される時間情報の設定をおこないます
Open Data Log	Dataログを開きます
Pause Data Logging	Dataログの出力を休止します
View Current Data Log	出力された.log形式のData ログファイルを開覧します
Log Pixels in Region	画像上に作成されたRegion内のピクセルが持つ輝度情報を画像と同じ位置関係でログ出力します
Open Object Log	Objectログを開きます
Pause Object Logging	Objectログの出力を休止します
View Current Object Log	出力された.log形式のObject ログファイルを開覧します
Log All Object Data	すべてのObjectログを出力します
Open Summary Log	Summaryログを開きます
Pause Summary Logging	Summaryログの出力を休止します

View Current Summary Log	出力された.log形式のSummary ログファイルを開覧します
Open Edge List Log	Edge Listログを開きます
Pause Edge List Logging	Edge Listログの出力を休止します
View Current Edge List Log	出力された.log形式のEdge List ログファイルを開覧します
Display EdgeList Log as Image	EdgeListログファイルを用いたセントロイド画像および、バイナリStack画像作成機能

Measureメニュー	機能
Calibrate Distance	画像の校正、および校正値データの作成編集を行います
Clibrate Gray Levels	輝度の校正、および校正値データの作成編集を行います
Assign Time Reference	タイムラプスのStackファイルにおいてElapsed timeの始点の設定を行います
Threshold Image	画像上に輝度による2値化処理を行います
Set Color Threshold	24bitカラー画像上に輝度や明度等による2値化処理を行います
Cut Objects	画像上に作成されたThresholdのエリアの切り分けを行うツールです
Join Objects	画像上に作成されたThresholdのエリアの書き足しを行うツールです
Annotate Mesured Objects	画像上にIntegreted Morphometry Analysisで解析された結果をスタンプします
Integreted Morphometry Analysis	取得した画像に対して設定されたThresholdエリアにおいて、形態計測を行います
Internally Threshold Objects	Thresholdエリアで重なる境界部分を検出し、Thresholdの重複部分をカットします
Show Region Statistics	画像上にある選択したRegionもしくは画像全体の平均輝度、総輝度などを計測します
Region Measurements	画像上にある複数のRegion、もしくは選択したRegionや画像全体の輝度情報などを統計的に計測します
Measure Pixel	画像上でクリックしたポイントのピクセル輝度を求めます
Linescan	画像上に作成したLine Regionの線上の輝度情報をグラフ表示します
Show Histogram	画像のヒストグラムを表示します
Segmented Histogram	画像のヒストグラムを指定した輝度の範囲ごとに異なる色で表示します
Manually Count Objects	画像上にある対象物をクリックし、個数をカウントします
Calipers	H型のスケールツールを用いて画像上の対象物の測長を行います
Crear Measurements Stamps	画像上に計測後にオーバーレイされた計測結果を消去します

Journalメニュー	機能
Start Recording	選択後以降に実行したコマンドを記録し、Journalとして作成します
Pause Recording	Start Recordingのコマンド記録を一時中止します
Toggle Interactive	選択後のStart Recordingで記録したコマンドをJournalで実行した場合にそのコマンドの実行の確認を求めます
Run Journal	作成済みJournalを実行します
Edit Journal	作成済みJournalの編集および、新規Journalを作成します
Loop	作成済みJournalを様々なパターンで繰り返し実行します
Journal Control	特殊なタイミング(MetaMorph起動時など)でJournalを実行する設定を行います
Recording Tools	Start Recording中における画像および画像上の様々な情報を記録し、Journalコマンドとして登録します
Variables	Journalで使用できる変数の確認、編集などを行います
Import Journal Suite	Export Journal Suiteで出力した専用圧縮フォーマットのJournalファイルを取り込みます
Export Journal Suite	作成したJournalを専用圧縮フォーマットで出力します
Taskbers	Journalや各種ファンクションを登録するタスクバーの新規作成、編集を行います
Taskbers Shortcuts	Taskberに登録したコマンドのショートカットコマンドを表示します
Show Taskbar	最後に使用したTaskberを再表示します
Taskber Always on Top	Taskberをすべてのウィンドウの最前面に表示します

Appsメニュー	機能
Cell Cycle	画像中に存在するそれぞれの核の細胞周期を計測します
Multi Wavelength Cell Scoring	波長毎にCell-By-Cellの測定値と各波長を組合せた細胞解析機能
Neurite Outgrowth	サンプルの神経繊維の染色画像と核染色画像から、細胞体ごとに解析値を出力します
Review Multi Dimensional Data	多次元データ表示機能
Multi Dimensinoal Data Set Utilities	多次元データユーティリティ機能
Measure Colocalization	白黒蛍光画像を用いたコロカリゼーション測定機能
Multi Dimensional Motion Analysis	高精度2次元/3次元オブジェクト追跡、解析機能
Auto Align	取得済みタイムラプス画像におけるXY方向の画像ズレを補正する機能
Track Objects	対象物自動追尾(軌跡解析)
TracI Points	対象物手動追跡
TransFluor	細胞上に存在する顆粒を細胞単位ごとにカウント。また顆粒は大きさ等でPitz、Besicleに分類可能
FRET	FRET用補正画像作成機能
Graph Intensities	スタック画像または、ライブ画像を用いた輝度変化グラフ作成機能
Correlation Plot	2画像による相関図(各素子の輝度値ベース)作成機能

デモキーで追加されたFunction

Dispalyメニュー	機能
Overlay and Montage	蛍光多波長、透過画像1波長の最大7波長の画像の重ね合わせを行います
Processメニュー	機能
3D Deconvolution	2Dデコンボリューションよりさらに精度の高いアルゴリズムで高度にピント外のボケ部分を除去します
Cosmic Ray Correction	化学発光撮影の様に長時間露光で見られるスポット上のノイズ(宇宙線ノイズ)を除去します
Adaptive Threshold	従来の輝度の絶対値ではなく相対値による画像のSegmentationを行います。
Appsメニュー	機能
Angiogenesis Tube Formation	in vitroの血管内皮細胞管腔形成サンプルを解析します
Cell Health	生細胞、アポトーシス、壊死細胞のクラス分け解析を行います
Cell Scoring	細胞を2種類のサブポピュレーション化する機能
Count Nuclei	分離識別が困難な核の解析および個数カウント機能
Granularity	細胞中の顆粒を検出する機能
Live Dead	細胞の増殖・死滅をカウントする機能
Micronuclei	核小体を識別、解析する機能
Mitotic Index	分裂期と静止期の細胞を定量的に区分けする機能
Monopole Detection	分裂期のMonopolarあるいはBipolarな紡錘体をカウントする機能
Review Screen Data	マルチウェルプレート用データ表示機能